

「ユニバーサルデザインまちあるき」

～宮古地方振興局土木部～

平成19年11月30日（金）宮古小学校の4年生により、総合学習の一環として、「ユニバーサルデザインまちあるき」が行われました。

これは、障害を持った方々と接して理解を深めるとともに、一緒に街や建物を点検し、みんなが住みやすい街を作るにはどうしたらよいか考えるきっかけ作りを目的として行われたものです。

スタッフとして宮古地方振興局（保健環境福祉部、土木部）、市役所、社会福祉協議会、が参加し一緒に体験をしました。

はじめに社会福祉協議会の方々と一緒に車椅子等の操作方法を再確認した後、5つの班に分かれ市内の各コースに出発しました。

まちの中では実際に車椅子やハンディキャップの体験をしたり、歩道の広さや段差、障害物の有無を調べ一生懸命メモを取りながら点検を行いました。

その後は学校に戻り、各班ごとに調べた結果を話し合い、大きくした地図に良い所や不便な所を書き入れ、体験した内容を発表しあいました。



社会福祉協議会の方々と一緒に再確認



ハンディキャップ体験



まちあるき体験発表の資料づくり

まちあるき体験発表の様子
(手話通訳をしていただく)